

案件概要表(草の根協力支援型)

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	セネガル共和国
2. 事業名	セネガルのサヘル地域におけるマラリア予防啓発活動プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	セネガルのサヘル地域(首都より北東 300km)に位置するンブラヘ村において、マラリアに感染しないための知識や予防方法の啓発を実施する。対象となるンブラヘ村の住民たちの多くは遊牧民のプル族であり、マラリア感染の原因となる蚊と接する機会が多い生活様式(家畜を蚊が多く発生する水辺や牧草地に連れて行く)であるにもかかわらず、マラリアに対する正しい知識や予防対策が欠落していることが現状である。そのために、マイクロレベルからの啓発活動を実施し、マラリアの伝播を防ぐことが必要とされている。
4. プロジェクト目標	対象世帯がマラリア予防策を自主的に実践できるようになる
5. 対象地域	セネガル共和国ルーガ州リンゲール県ダーラ市ンブラヘ村及びその周辺地域(首都より北東 300km)
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在セネガル日本大使館
7. 本事業の対象となる人々	セネガル共和国ルーガ州リンゲール県ダーラ市ンブラヘ村及びその周辺地域に居住する 100 世帯
8. 事業活動	<ol style="list-style-type: none"> 1. 森林局職員がニームに関する専門家として育成される。 2. ンブラヘ保健ポストに所属する保健指導員がピアエドゥケーター(PE)として育成される。 3. 定住時のマラリア予防に対する意識・知識が向上する。 4. 遊牧時のマラリア予防意識・知識が向上する。 5. 巡回訪問世帯以外の地域住民のマラリア予防意識・知識が向上する。
9. 実施期間	(西暦)2021年4月～2023年1月(1年9ヵ月)
10. 事業費概算額	9,986千円
11. 事業の実施体制	本プロジェクトは、保健省所管の公的な一次保健医療施設であるンブラヘ保健ポストのアワ・ンベング氏(CP、看護師)と現地コーディネーター、ピアエドゥケーター、本団体メンバーで構成されている。マラリアに関することについてはCPが主になりピアエドゥケーターの育成・管理を行う。本団体は、プロジェクト補助、第三者評価を実施する。現地のコーディネーターは、CPと本団体を調整する役割を担う。この三者間で定期的な会議や報告会を設け、プロジェクト内のガバナンスを強化する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人 Bokk Jambaar(ボック ジャンバール)
2. 活動内容	セネガルにて①保健、②教育、③女性・若者グループ支援分野における活動を行っている。これまでに、医薬品の配布、小学校の増築、フェアトレード商品開発支援を中心に、現地の住民と協働しながらの活動を実施。